

2015年2月9日

## インドネシア アルミナ工場が本格稼働

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）およびインドネシア・アンタム社の合併会社であるインドネシア・ケミカル・アルミナ社（ICA）は、ケミカル用アルミナ工場（インドネシア西カリマンタン州 以下、新工場）において商業運転を開始しました。

ケミカル用アルミナとは、バイヤー法\*で製造される、アルミニウム製錬用途以外に使用されるアルミナおよび水酸化アルミニウムの総称で、水質浄化剤や機能材料（セラミックス耐火物、研削材、放熱材）用原料、エレクトロニクス製品（IC パッケージ、液晶ガラス）の材料など、幅広い産業分野に使用されています。

当社は今回の新工場の稼働により、長年にわたって培ってきたアルミナの製造技術を新工場に移転しております。今後は、新工場にて生産した製品を国内外のお客様に販売し、さらにアジア地域の供給体制を確立し、当該地域を中心として需要が期待できる水質浄化、機能材料用途向けの拡販を進めてまいります。

以上

\*バイヤー法…アルミナを製造する一般的な方法で、水酸化ナトリウム（苛性ソーダ）を用いて原料のボーキサイトから水酸化アルミニウム（アルミナ）を抽出する。

### 【ご参考】

#### インドネシア・ケミカル・アルミナ社 概要

正式社名： PT. INDONESIA CHEMICAL ALUMINA

設立： 2007年2月

代表者： デニー マウラサ社長（Mr. Denny Maulasa）

株主： アンタム社（80%）、昭和電工株式会社（20%）

新工場生産能力：年産30万トン（昭和電工引取分20万トン）

#### アンタム社 概要

正式社名： PT. Antam Tbk

本社所在地： インドネシア ジャカルタ

設立： 1968年7月

代表者： タトー ミラザ社長（Mr. Tato Miraza）

株主： インドネシア政府（65%） 他

事業内容： 金、ニッケル、ボーキサイト等鉱産物の採掘・加工・輸出



新工場（全景）

◆本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235

